



楽しく

解剖生理を学ぶ

京都民医連看護学生のつどい

京都保健会副看護部長 酒井富貴子

「解剖生理が嫌い」「テストを落とした」など、看護学生の悩みの種、「解剖生理」の学習。

京都民医連の看護学生委員会では学生の悩みに応えよう、将来看護師として働くうえで大切な解剖生理をアレルギーなく学んでもらいたいとの思いから奨学生向けの学習会を企画しています。ちょうど京都民医連中央病院研修医の石井慧先生が学習会の講師を快く引き受けていただけましたこともスタートのきっかけになりました。2015年1月、3月、5月、8月、9月と5回開催、卒業1年目や2年目の看護師さん、研修医1年目の先生、高校生、奨学生以外の学生さんにも広がり、5回でのべ76人の参加となりました。そして学習会の後は看護学生委員手作りのごはん会となります。炊き込みご飯、豚汁、カレーライス、三色丼などメニューも多彩です。

学習会は暗記型ではなく思考型。自分の頭で考える、関連付けて考える、「何故?」と疑問を持つことを徹底して教えられる。「手相はなぜできるの?」「ご飯を食べて走ったら、わき腹が痛くなるのは何故?」などのユニークな疑問を出し合い、「一緒に考えるというすすめ方。」「頸椎損傷と麻痺の関係」「ホルモン」「糖尿病」などの疾患についても興味深く学ぶことができます。参加者の感想も「教科書を読んでもなかなか理解できないことが、イメージできて頭



にすっと入ってきた」「とても分かりやすく楽しかった」「学校で習っていることに深みが出た」等、好評です。
年度内にもう2回予定しています。学生が主体的に学ぶ場をこれからも提供していきたいと思えます。



友の会 活動家紹介

西京健康友の会 事務局長

藤井 貞子 さん



藤井貞子さんは西京健康友の会の事務局長として友の会運営の中心を担っています。また、いつでも元氣誌の担当者として

毎月の仕分けや配布、集金の段取り等の実務を担当しています。小児科のかみの診療所との関わりで常に地域の若いお母さんとの接点を大事に考え、取り組みに参加されています。法人の地域理事として理事会に参加されていることや民医連の事業所での勤務経験も踏まえて、幅広い立場から様々な提案をして下さり、医療懇やレクリエーションにも関わって頂いています。一方、日々忙しい中でも定期的に水泳もされて健康を保たれています。いつまでも元氣で友の会に力を与えて頂きたいと考えています。

(京都民医連かみの診療所事務長 福合靖彦)